

# 歯科医療と介護保険③

小山 榮三(枚方市)

今回は、栄養サポートチーム、介護保険への歯科関係者の関与の必要性について書いてみる。介護保険には歯科関係者がもっと参加できる道を拡大して行くべきと想っている。高齢化社会のなかで、この分野にも食い込まないままです。歯科医療費のシエは減少して行くだろう。

今回は、栄養サポートチーム、介護保険への歯科関係者の関与の必要性について書いてみる。介護保険には歯科関係者がもっと参加できる道を拡大して行くべきと想っている。高齢化社会のなかで、この分野にも食い込まないままです。歯科医療費のシエは減少して行くだろう。

# 日常の歯科治療

126

病院の栄養サポートチーム(NST)では、栄養士、医師、歯科医師、看護師、検査技師などがチームを組んで問題を解決するように取り組まれている。口腔関連サービスは3つ。①口腔機能維持管理(加算(月一回30単位)、09年改定で新設され、歯科関係者が介護職員に口腔ケアの指導を月一回行うこと)。

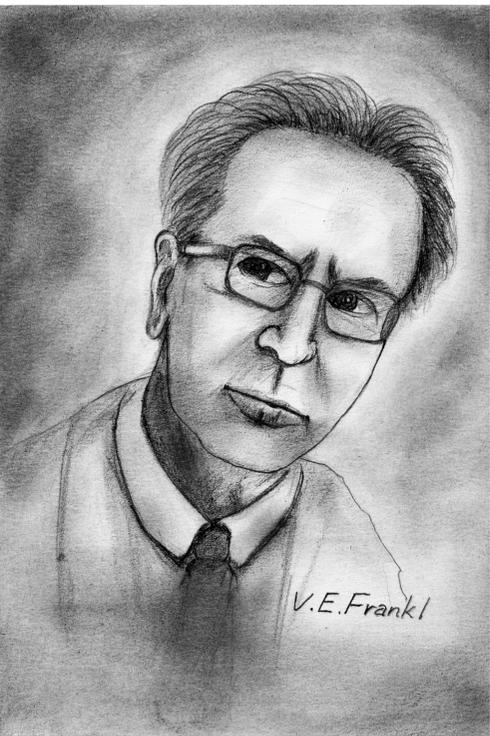
# 生きる意味を再確認させる

『それでも人生にイエスと言う』V.E.フランクル著

中村 新太郎(富田林市)

本書は、『強制収容所における一心理学者の体験』『夜と霧』の著者であり、実存分析の創始者として有名であるフランクルが、ナチスの強制収容所から解放された翌年にウィーンの市民大学で行った3つの連続講演を収めたものである。

自らの生々しい体験を、終戦直後の精神的混乱のさ中にある一般市民に向けて平易な言葉で情熱的に語りかけたこの講演は、彼の他の専門的な著作とは異なった近づきやすさと魅力を持っている。少子高齢化、経済縮小の現代、「生きる意味」を説くこの書の重要性は、言うまでもない時期にある。



絵 藤田 進 (河内長野市)

この作家あこの作品 14

彼の仕事が単に精神医学の領域にとどまらず、広く人間の生き方そのものに

あんなではない。人間とは「生きる意味」を問うる、また問わざるを得ない唯一の生物である。このことは、われわれの偉大さを示すものであるが、しかし他面、もし生きる意味

がどこにも見出されないとするれば、人間の悲惨と苦悩はまさにいっそう深刻であろう。そこに人間の本質的なジレンマがあり、しかもそのことが現代において極めて顕著に露呈してきているのであ

# 防衛費より社会保障費 「暮らしに憲法を」と泉氏



大阪市内 10月11日、社会保障責任を強調する泉氏

「防衛費も社会保障費も、どちらも出所は税金や保険料などの国民の懐から。暮らしに憲法25条の精神を生かすためには、9条を堅持し防衛費をできるだけ少なくし、社会保障費を確保する必要がある」と。10月11日にマイドームおおさかで開かれた、おおさか医師・歯科九条の会講演会「憲法9条と25条をセツトで守ろう」のみなでみんなの暮らしを守るために、泉氏(元京都大学教授)はそう語った。泉氏は「戦後50年にお



る社会保障の最大の汚点は、教育・医療を民間にも携わせたことで、利潤の対象にしてはいけないが、政府を選んだのは国民。だから、国民一人ひとりが自分の生活を守るためよく考えて欲しい」と訴えた。

また、社会保障改善には悪化に費やした以上の時間が必要で、少なくとも50年はかかる」と。高福祉・高負担の欧州型か低福祉・低負担の現状のままかなを考える時期にきているのではないかと述べた。

# 協会行事案内

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

11月度生涯研修 「摂食・嚥下障害の診断と治療」 日時 11月15日(日) 午前10時～午後1時 会場 M&Dホール(保険医会館東隣り) 定員 100人 講師 館村卓氏(大阪大学大学院高次脳口腔機能学講座准教授) 会費 会員3千円、未入会者1万円

大阪府東部地区講習会 「効率と長期安定性を追求した接着修復の実際」 日時 11月29日(日) 午前10時～午後1時 会場 保険医会館 定員 50人 講師 英保裕和氏(兵庫県三田市開業) 会費 会員無料、未入会者1万円

12月度生涯研修 「口臭治療について—今、大阪歯科大学附属病院の息さわやか(口臭)外来では—」 日時 12月13日(日) 午前10時～12時 会場 M&Dホール(保険医会館東隣り) 定員 100人 講師 上田雅俊氏(大阪歯科大学歯周病学教授) 会費 会員3千円、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です。協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。 ※M&Dホールとは、医師・歯科両協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名です。